



ふれあい



【重点教育目標】

学びと社会とのつながりを実感し、
笑顔と活力で能動的に学び続ける子供の育成

「子供の発達段階」 パート2

校長 小野 直久

街路樹や道ばたの草花に雪化粧が見られるなど、冬の到来を感じる頃となりました。この時季は、秋刀魚・鰹・鮭などの魚、茸・南瓜・薩摩芋・栗などの野菜、そして新米などの季節を感じるたくさんの食材が店頭に並んでいます。旬の食材を食することは、体調を整えたり、地元食材のよさを感じる地産地消の心を育んだりする上で大切です。ぜひ、買い物や調理、食事時の会話などを通して、過ぎゆく季節を感じたいですね。

(1)「小1プロブレム」編(低学年)

①要因

- ・保育園や幼稚園からのギャップやストレス等と言われています。(遊び中心から勉強中心に変わる、集団生活や集団行動が求められる、1クラスの人数が増える、自律的な行動が求められるなど)

②現象

- ・「小1プロブレム」とは、入学後の小学1年生の教室で起こる「先生の話聞かない・授業中に立ち歩く・集団行動をとれない」など、学校生活に適應できない状態が続く現象が見られることがあります。

③対応

- ・ストレスの要因となる可能性がある「もう1年生なんだから〜」「〇〇はやったの？」などの言葉ではなく、「子供の話をして聞く」「〜そうなんだ、気持ちは分かるけど・・・と共感する」「こういう時は、どうしたらいいと思う・・・と考えさせる」「そうしてくれれば助かるなあ、うれしいなあ、と励ます」など、「聞く・共感・考えるさせる・励ます」の頭文字をとったKKKH(野球用語でKは三振、Hがヒット)「4打数1安打の会話術」が効果的という指摘もあります。
- ・学校では、入学後、「スタートカリキュラム」として、児童の実態を踏まえながら、生活科を中心に他教科や学校生活と関連付けた学習を計画的に進め、幼児期の学びから児童期の学びへの円滑な接続を図っています。

(2)「9歳の壁・10歳の壁」編(中学年～高学年)

①要因

- ・算数の小数や分数、理科の電気の状態変化など、具体的にイメージしづらい抽象的な学習内容が増えることや、自我の目覚めから自分と他人との違いが気になるなど、他者意識の発達及び自分を客観的に見る意識の発達等があるとされています。現象が見られるようになる一般的な時期を総称して「9歳・10歳の壁」と言われていますが、9歳・10歳に限定したものではなく、子供によってはもっと早い時期から始まったり、現象が落ち着くまで相当の年数がかかる場合もありますので、小学校中学年から高学年の全ての子供に当てはまる状況だと言われています。

②現象

- ・内面の発達にともない、他者意識や自己評価の高まりによる「イライラ感」「自信の喪失」や「関係性がある他者への攻撃」「人間関係の変化」が見られることがあります。具体的には、限定的な人間関係をつくって自分たちのルールを正当化しようとしたり、反抗的・衝動的・攻撃的な言動をとったり、人間関係が大きく変化する状況が見られることもあります。また、「〇〇をやりたいくない」「〇〇に行きたいくない」などの行動抑制・劣等感の増大や、「どうして自分だけ」「他の人もやっているのに」など、他者に干渉したり他者と自分を比較する傾向も強くなる場合もあります。
- ・学習面では、学習のつまづきや意欲の変動が強くなりことがあります。具体的には、「分からない」「出来ない」「やりたくない」「めんどくさい」「どうせやっても」など、学習や活動から逃避したり放棄したり、時には努力することを諦めたりする傾向が見られる場合があります。

③対応

- ・「何がよかったのか」「どうすれば出来るようになるか」など、「何がよかったのかを具体的に褒める」「どのようにしたらよいのかを具体的にアドバイスする」「なぜ、しなければならないのかという理由を伝える」などの言葉を工夫することにより、子供の自信や自己肯定感を回復することにつながるとされています。
- ・「えらいね」「すごいね」と褒めるより、「ありがとう」「うれしかったよ」など気持ちを伝えるなど、自分の言動に対する「勇気づけ」につながる言葉が望ましいと言われています。
- ・学校では、学習内容を日常生活と関連付けて説明したり、学びに向かえない心身の状況になった場合は、個別に別室で教育相談や学習指導を行ったりするなどの対応をしています。また、御家庭に御連絡してお子様の様子をお伝えしたり、状況によっては、保護者様に来校していただいたりするなどの対応をお願いしています。保護者様のご都合がよい時に、お子様の学習や生活の様子を参観いただくことは大歓迎ですので、お気軽に御来校ください。今後は、教員が分かりやすい授業をつくる力を高めるために、タブレットによる授業記録を活用した研修等を行ったり、子供たちが安心できる環境をつくるために、教室配置等についても検討していく予定です。

【次号は「中1ギャップ編」です】

末広小 R6 年度 全国学力・学習状況調査の結果から

4月18日に実施された全国学力・学習状況調査について、本校6年生の結果(◎成果/○全国レベル/●課題)をお知らせします。

〈 国 語 〉

- ◎無解答率が低い。
- ◎内容別、観点別、問題形式別のほぼ全てにおいて、正答率が全国を上回っている。
- ◎条件を満たして自分の考えを記述する問題の正答率が、全国を大きく上回っている。
- 内容において、思考・判断・表現の「話す・聞く」の正答率が、全国を下回っている。

〈 算 数 〉

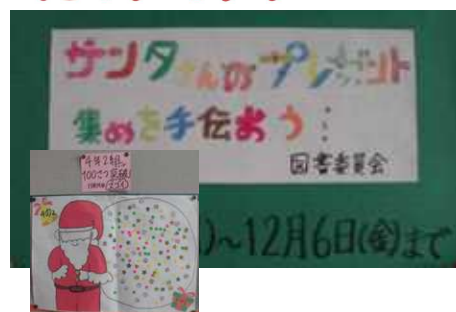
- ◎無解答率が低い。
- ◎領域別の「データの活用」、問題形式別の「記述」の正答率が、全国を上回っている。
- 領域別、観点別、問題形式別のほぼ全てにおいて、正答率が全国平均レベルにある。
- 領域別の「変化と関係」の正答率が、全国を大きく下回っている。

〈 児童質問紙 〉

- ◎国語・算数共に、記述式の問題について、最後まで解答しようと努力した割合が高い。
- ◎国語、理科の勉強を「好き」と答えた割合が高い。
- ◎読書や図書館を活用している割合が高い。
- ◎ICT機器を学習に使用した割合が高い。
- ◎いじめはいけないと思う割合が100%。
- 算数の授業の内容について、「よく分かる」と答えた割合が低い。
- 放課後や週末に家でTVや動画視聴、ゲームやSNSをして過ごす割合が高い。また、普段一日当たり3～4時間テレビゲームをする割合が高い。
- 平日一日当たりの家庭での学習時間が短い。また、放課後や週末に勉強して過ごす割合が低い。

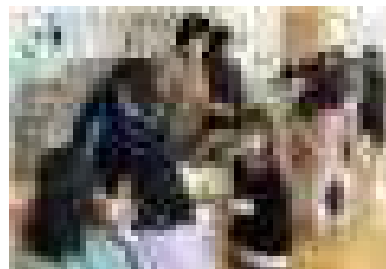
6年生の結果ではありますが、学校・家庭のこれまでの指導の積み重ねとして捉えることが大切です。特に、一日の時間の使い方、メディア端末等との付き合い方など、家庭での過ごし方について振り返る機会にしてほしいと思います。

光るアイデア



11月を読書月間として、お話を読むことを推奨しています。図書委員会は、末広っ子に楽しみながら多くの本に親しんでもらうために、本を借りるともらえるシールをサンタの袋に貼っていくという「サンタさんのプレゼント集めを手伝おう」という取組を企画し進めています。各学級の冊数が見て分かり、10日間程で100冊に達した学級もあります。「望ましい習慣」「楽しい学校」づくりのアイデアを子供たちが考えて実践する姿勢を根付かせていきたいと思っています。

(→図書室は大賑わい)



12月

- 【生活目標】学校をきれいにしよう
- 【給食目標】冬の食生活について知ろう
- 【保健目標】冬を健康に過ごそう

- 2日(月) 全校朝会、安全点検日
- 12日(木) 児童会
- 13日(金) 諸費納入期限日
- 15日(日) ノーメディアデー
- 18日(水) 参観日(4～6学年)、PTA給食試食会(4,5学年)、PTA学年レク(6学年)
- 20日(金) 参観日(1～3学年、ふたば学級)、PTA給食試食会(1～3学年)
- 冬休み図書貸出(高学年)
- 23日(月) 冬休み図書貸出(中学年)
- 24日(火) 冬休み図書貸出(低学年)
- 25日(水) 2学期終業式(全校4時間授業)
- 26日(木) 冬季休業(～1/14)
- 29日(日) 学校閉庁日
- 30日(月) 学校閉庁日
- 31日(火) 学校閉庁日

教職員における働き方改革に関する取組の一つとして旭川市立小中学校では、長期休業期間に学校閉庁日を設定しています。冬季休業中は12月29日～1月3日となります。

学習へのご協力に感謝

22日、2年生は、生活科「町たんけん」の学習で、茂田石油、末広交番、末広郵便局、ツルハドラッグ、みつわ湯の5カ所を訪れ、施設内の様子や仕事について詳しく教えていただきました。

コロナ禍を通して、様々な職業で働く人たちによって生活と社会が成り立っていることを、小学校からしっかりと学んでおく大切さを改めて感じたところです。今後も、子供たちの学びを深めるために、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

